

公衆衛生活動・研究論文の書き方研修プログラム

I. 目的:

一般目標:

研究の立案から評価、さらに論文・報告書作成にいたる一連の過程を学習し、その技法と考え方を習得する。

個別目標:

1. 研究計画書の構成を理解し、自身で作成できる
研究計画の概要、研究目的、対象者選択基準、
研究方法、調査項目、統計解析(予定対象者数を含む)、データ収集の手順、倫理的事項、研究中止基準など、研究組織
2. 研究計画書の作成に必要な疫学原理を理解できる
疫学研究の考え方、研究デザイン、倫理
3. 研究実施時(後)に起こる問題・限界点を認識できる
バイアス・交絡、一般化可能性
4. 生物統計的な考え方を理解できる
統計的推定、検定、95%信頼区間、標本数の設定
5. 基本的な検定手法を理解できる
t検定、カイ二乗検定
6. 交絡調整に必要な統計手法を理解できる
層別化、統計モデルを利用した調整
7. SPSS等の統計解析パッケージを利用した検定・推定を実際に行うことができる
8. 保健医療分野における論文構成・表現法を知り、それに則った論文を執筆できる

II. 受講対象者:

公衆衛生分野の研究を企画・実施し、その結果を日本公衆衛生雑誌など学術論文誌に論文投稿しようと思っている人

III. 受講者の必要条件:

疫学、統計学の基礎を学んだ経験があること。PCの基本的操作ができること。

IV. 人数:50名程度

V. 場所:筑波大学 筑波キャンパス

VI. 日時:8月26日(木)ー8月28日(土)

VII. 研修日程(案)

8月26日(木)

午後

| | |
|-------------|-------------------------------|
| 13:00-13:10 | 開講にあたって(大久保一郎) |
| 13:10-13:55 | 医学研究の基本的な流れ(我妻ゆき子) |
| 13:55-14:40 | 研究の企画と論文作成に必要な生物統計学(高橋秀人) |
| 14:40-15:00 | 休憩 |
| 15:00-15:45 | 緒言・考察の書き方、論文の表現法、投稿のマナー(高橋秀人) |
| 15:45-16:30 | 疫学総論(磯博康) |
| 16:30-16:45 | 休憩 |
| 16:45-17:30 | ヘルスサービスリサーチ(田宮菜奈子) |
| 17:30-18:00 | グループ分けと課題研究計画の発表 |

8月27日(金)

| | |
|-------------|-----------------|
| 9:00-11:00 | 統計解析実習 |
| 11:00-11:15 | 休憩 |
| 11:15-12:00 | 公衆衛生雑誌の現状(甲斐一郎) |
| 13:00-14:30 | ワークショップ 1 |
| 14:30-14:45 | 休憩 |
| 14:45-17:00 | ワークショップ 2 |
| 17:00-18:00 | カウンセリング |

8月28日(土)

| | |
|-------------|-------|
| 9:00-10:15 | 発表会 |
| 10:15-10:30 | 休憩 |
| 10:30-11:45 | 発表会 |
| 11:45-12:00 | 修了証授与 |

参加講師(予定)

甲斐一郎、磯博康、大久保一郎、田宮菜奈子、我妻ゆき子、高橋秀人、岡田昌史